

垂井町第3次教育大綱

Ⅰ 大綱策定の趣旨

【本町の取組】

垂井町は、町の中央を流れる相川をはじめ豊かな自然に恵まれ、美濃国府や中山道の宿駅が置かれていた歴史ある町です。また、地域の祭り、地域に根ざした伝統と文化が今なお大切にされている町、人と人との温かなつながりやふれあいのある、誰でも親しみのもてる町です。

本町では、先人から受け継いできた豊かな自然や歴史・文化・伝統と、それらを支える人材（「人財」）を大切な教育資源として位置付けるとともに、町民のニーズに応じた適切な幼児教育・学校教育・生涯学習・生涯スポーツの充実を図り、文化財を保護し活用することは、垂井町らしい教育を進めていく上で極めて重要であると捉え、こども園、小・中学校、教育委員会で、次のような取組をしています。

《こども園、小・中学校》

地域の教育資源を活用し、地域の人材（「人財」）とともに学ぶふるさと教育の充実

- ・相川、ハリヨ、ホテル、モリアオガエルなどの自然・環境学習
- ・垂井曳軸まつり、宮代地区の祭り、表佐太鼓踊り、栗原踊り、半兵衛音頭などの伝統文化の継承
- ・美濃国府跡、美濃路の松並木などの文化財や郷土の偉人に学ぶ歴史学習
- ・地域と一体となって子どもを育てるコミュニティ・スクールの推進

《教育委員会》

幼児教育・学校教育に関わる支援体制の整備

- ・スクールアドバイザー（子育て支援アドバイザー）、特別支援教育指導員、幼児教育指導員、指導主事、個別支援教育講師、小学校教育支援講師、スクール・サポート・スタッフ、外国人英語指導助手等の配置
- ・適応指導教室（フリースペースたるい）の設置と適応指導員の配置
- ・こども園、小・中学校、不破高校の連携
- ・道徳教育推進協議会の設置と地域ぐるみの道徳教育の推進
- ・一人一台端末をはじめとしたICT環境の整備及びICTを活用した教育の推進

生涯学習・生涯スポーツ、文化振興・文化財に関わる支援体制の整備

- ・地域づくり型生涯学習の推進と指導者の育成
- ・地域ぐるみによる青少年健全育成の推進と地域・家庭の教育力の向上
- ・生涯スポーツ・レクリエーションの普及・振興
- ・豊かな心と創造性を育む文化の振興
- ・文化財の保護・活用

【社会情勢】

子どもたちが社会で活躍する頃は、グローバル化の進展や技術革新、生産年齢人口の減少等により、社会構造や雇用環境が大きく変化した時代を迎えていると予想されています。また、AI（人工知能）やIoT（さまざまなものがインターネットに接続され、相互に制御する仕組み）等が急速に広がるSociety5.0時代（超スマート社会）、人生100年時代が到来し、人々の働き方や生活様式などライフスタイルも大きく変わろうとしています。このような中で、子どもたちが自ら考え、主体的に行動し、責任をもって社会変革を実現していく力を発揮しながら、新たな価値を創造する力、対立やジレンマを克服する力などを付けることが求められています。また、地域社会の一員として参画し、誰一人取り残されず、一人一人の可能

性や自らの個性を生かして幸せに生活できる社会の実現が求められています。

【教育における国の動向】

持続可能な社会の創り手となる子どもたちに、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、よりよい社会の形成に参画するための資質・能力を育成することが求められています。幼稚園教育要領、小・中学校、高等学校学習指導要領等では、次のようなキーワードを重視しています。

- ・社会に開かれた教育課程
- ・主体的・対話的で深い学び、個別最適な学びと協働的な学び
- ・カリキュラム・マネジメントの推進
- ・言語能力の育成、理数教育・体験活動の充実
- ・外国語教育の充実
- ・ICTを活用した教育（プログラミング教育）の推進

また、GIGAスクール構想の実現に向けて、全国一律のICT環境整備が推し進められ、校内通信ネットワークや児童生徒一人一台端末の整備等、ICT環境の充実が図られました。

東京オリンピック競技大会やパラリンピック競技大会での選手の活躍により、高まったスポーツへの関心から、生涯を通じてスポーツが好きでいられる環境が求められています。また、学校部活動の地域移行が喫緊の課題となっています。さらに、よりよく生きようとする一人一人の意思を尊重しながら共に学び、支え合う生涯学習の推進が期待されています。

GIGA スクール構想 …児童生徒用のタブレット端末と高速大容量の通信ネットワーク等を整備し、どの子どもたちも、自分に合ったペースで学習したり、特異な才能をさらに伸ばしたり、多様な仲間と協働的に学習したりする教育を持続的に実現させる国の構想を指す。

【大綱の策定】

こうした状況を踏まえ、子どもたち一人一人が、ふるさと垂井への誇りと愛着をもち、変化の激しい社会を生き抜くことを願って、知徳体の調和を大切にした教育の推進と、町民一人一人が持続可能な社会づくりに貢献することができるよう、生涯にわたって主体的に学び、スポーツに親しみ続ける環境の整備が必要であると考え、教育大綱の基本方針を定めました。

2 垂井町教育大綱

【基本理念】

「ひととまちが輝く 地域共創都市～さらなる やさしさと活気を求めて～」をめざして、垂井町の教育がめざす人間像を次のように定め、本町の「基本理念」として、積極的に教育を推進します。

めざす垂井の人間像

「ふるさと垂井」への誇りと愛着をもち、
自らの夢や目標、可能性に挑戦し、豊かな心で支え合い、協働のまちづくりに貢献する人間

【めざす人間像を支える資質や能力】

<自立する力> 志をもって夢や目標、可能性に挑戦し、生涯にわたって主体的に学び続け、自立する力	<共生する力> 生命と人権を尊重し、豊かな心で支え合い、他者との繋がりを大切にし、共生する力	<貢献する力> グローバルな視野と地域や社会の一員としての自覚をもち、自分の能力や個性を発揮し、協働のまちづくりに貢献する力
---	--	--

基本方針1：生命と人権の尊重を基盤とし、知徳体の調和を大切にした園・学校づくり

垂井町の将来を担う子どもたちが、生命と人権を互いに尊重し、志をもって夢や目標、可能性に向かってたくましく生きていくことを大切にします。そのために、個のよさや可能性をとらえ、確かな学力（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）を育成し、自ら課題解決できる資質や能力を養い、豊かな心を育み、体力の向上や健康づくりに取り組むなど、知徳体の調和のとれた教育を、学校、家庭、地域など社会総がかりで推進する施策や取組を進めます。

《施策の方向性》

- ・確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成
- ・新たな教育課題に対する積極的な対応
- ・教育資源を活用した伝統や文化にふれる機会づくり
- ・個のニーズに応じ、自立や社会参加に向けた取組の支援

基本方針2：生涯にわたって学び続け、持続可能な地域社会に貢献する人材（「人財」）づくり

町民一人一人が、生涯にわたって学ぶ意欲をもち、心豊かに暮らしていくための教養とスポーツに親しむ姿勢や習慣を育むことを大切にします。そのために、生涯学習の機会の充実を図るとともに、子どもたちの活動や教育に参画しやすい環境を整備します。さらに、積極的に他者や地域社会との関わりをもち、持続可能な社会づくりに貢献し、生きがいをもって社会の中で自立していく人材（「人財」）を育てる施策や取組を進めます。

《施策の方向性》

- ・家庭教育の充実と青少年健全育成の推進
- ・生涯学習と生涯スポーツの推進
- ・ふるさとの伝統と文化の継承・発信
- ・ふるさとの文化遺産の保護・活用